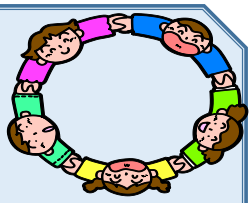
東神楽小学校　学校だより

みんなそろって　輪になって



◇本年度の重点目標
考えをもち　しっかり伝え、成長を喜び合える子どもの育成
笑顔いっぱい!!できた！わかった！がんばった！自信がついた！

第１２号 令和５年３月２３日

「それぞれの子ども達が」

校長　堀　江　　充

３月１７日、第１２４回卒業証書授与式が開催され、２６名の児童が本校を巣立ちました。そして、２４日には修了式を予定しています。４月からは卒業生は中学校へ、在校生は一つずつ進級します。

卒業式では、２６名の卒業生のために在校生が一丸となって準備し、当日は、ズームでの参加でしたが、心のこもった卒業式、卒業生もその期待に十分こたえた立派な卒業式を創り上げました。

卒業式式辞より抜粋

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは、六年をかけ、小学校で学ぶ全課程を修了しました。それぞれが自分の個性を生かし、小学校で修得すべき力をしっかりと身に付けました。

また、学級の仲間と助け合い、下級生には、やさしく手をさしのべることのできる「素敵な先輩」でした。どうか、この小学校で培った力に、自信をもって、中学校へ進んでください。

ここで、卒業される皆さんに、二つお話をします。

一つめは「ありがとう」です。

ようやく収まりそうな感染症の猛威、今なお続く世界での争いや災害、こんなことが起こることは誰も予想できませんでした。

同じように、みなさんが生まれた時、歩けるようになった時、言葉を発した時、病気になった時、みなさんの成長のそばには、家族がいて、いつも一緒に泣いたり、笑ったり、喜んでくれたはずです。そして、それが当たり前と思っていませんか。でも、それは実は、奇跡の連続なのです。

ありがとうとは、「有り難し」すなわち、ありえないこと、めったにないこと、奇跡という意味があり、その反対語は「当たり前」です。

ぜひ、今日はそんな当たり前のようにみなさんを見守ってきてくれた家族や多くのみなさんに「ありがとう」と感謝する日であってほしいと思います。

二つめは、「自分らしく」です。卒業生の皆さんの前には、すばらしい未来が開かれています。この卒業に誇りをもち、たった一度しかない自分と、たった一度しかない人生を「自分らしく」精一杯進んでいってください。

本年度も本校では皆様の御支援、御協力のもと、学力・体力の向上、心の教育など、多くの成果を上げることができました。これもひとえに保護者、そして、学校運営協議会、ＧＴＡという地域の皆様並びに関係機関の方々の温かいご理解、ご支援のお陰と、教職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。１年間のご厚情に心より感謝申し上げ学校便り最終号の挨拶とします。

第124回卒業証書授与式

３月１７日（金）に、第１２４回卒業証書授与式が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、在校生は zoom で観覧、来賓は、ＰＴＡ会長のみとするなど、規模を縮小した卒業式となりましたが、無事に終了することができました。厳かな雰囲気の中、子どもたちの表情には、凛とした雰囲気が漂っていました。一人一人が登壇し、決意表明を堂々と行った後に堀江校長から卒業証書を受け取り、６年間の頑張りや思い出を感じていました。卒業生たちの堂々とした立派な態度に、６年間の成長がしっかり刻まれていました。育ててくれた保護者やお世話になった方々への感謝の言葉を送る場面もあり、温かい式となりました。小学校での思い出を胸に、更に充実した中学校生活を送り、活躍することを願っています。

同窓会入会式

３月３日（金）松尾和宏同窓会長様ご臨席の下、同窓会入会式が行われました。松尾会長からは「同窓会の仲間として、心より歓迎いたします。同窓会員は、いろいろなところで活躍している先輩がたくさんいます。中学生になったら、勉強や部活に忙しくなると思いますし、このようなコロナでの環境の中ですが、早く終息することを願って、明るい未来が待っていると思いますので、中学校の３年間を楽しんで、頑張っていただきたいです。」と歓迎のお言葉をいただきました。また、新入会員を代表して岸本強汰さんが「今後は卒業生として、そして、同窓会員として、それぞれの夢や目標に向かって努力していきます。」と、決意の言葉を述べました。６年生は、歴史と伝統ある東神楽小学校同窓会の一員に加わったことを自覚し、気を引き締め、その後の式に臨んでいました。

山下さんの講話

３月２日（木）の朝会で、教育推進課の山下さんの講話がありました。講話内容の一部を紹介します。

１００M 走の陸上選手を例に、人は「良いことが起こるのは自分の努力」、「悪いことが起きるのは周囲が原因」と考えがちですが、「良いことが起こったのは周囲のおかげ」、「悪いことが起こったのは自分の責任」と見方を変えると、物事の捉え方が変わり、幸福度が高まるのかもしれません。

「過去と周囲」は簡単に変えられませんが、「未来と自分」は変えることができるので、日頃、うまくいかないことがあっても、いろいろな視点をもち、「未来の自分が誇りに思える今」を過ごしてほしいと思います。

6年生を送る会

３月１日（水）お世話になった６年生に感謝の気持ちを表す集会が行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、６つの学年を、２つのブロックに分けて実施しました。各学年が、６年生を楽しませようと工夫を凝らした出し物、マイムマイム替え歌、ドレミの歌、こぎつね、動物になって感謝を伝える、○×クイズなどで、会場が盛り上がりました。この集会を企画、運営したのは次のリーダーとなる５年生たちです。会場の飾り作りと飾り付け、交流ゲーム（間違いだらけの間違い探し）の計画と運営、全体進行の司会などをやり遂げ、在校生の最高学年として、自覚や責任感が育っていることが感じられました。

在校生・卒業生の寄せ書き

1年

2年

3年

4年

5年

6年

人事異動のお知らせ

今年度３月末をもって、下記の教職員が東神楽小学校を離任・退職することになりました。これまでのご支援、ご協力ありがとうございました。

退職　校　　長　堀　江　　充
転出　教　　諭　児　玉　政　和（旭川市千代田小へ）
退職　教　　諭　西　田　多希子
転出　教　　諭　小　西　理　映（旭川市近文第一小へ）
転出　教　　諭　今　井　公　雄（旭川市愛宕東小へ）